

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	鬼の館		■担当係	鬼の館
■評価事業名称	常設展・企画展等			
■事業開始年度	平成6年度			
■評価事業コード	402300 - 012	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	02 社会教育の充実		
	■施策	03 社会教育機能の充実		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	鬼について学習する機会を提供することで鬼についての理解や知識が向上する。また、施設開放事業を行うことで市民が博物館施設を活用しやすくなり情報交換が活発化する。常設展示の内容を補足拡大する企画展・特別展や展示室等の施設開放事業を実施する。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成27年度事業計画	平成27年度事業量実績
01	企画展・特別展	一般	<ul style="list-style-type: none"> ●企画・特別展回数 3回 ●見学者数 17,000人 ●ナイトミュージアム開催日数 2日 来館者350人 	<ul style="list-style-type: none"> ●企画・特別展回数3回 ●見学者数 17,250人 ●ナイトミュージアム開催日数 2日間 来館者数316人
02	受付案内・入館料徴収事務	来館者	<ul style="list-style-type: none"> ●入館者 24,000人 ●催事カレンダー 6,000部 ●鬼の館だより500部×2回 	<ul style="list-style-type: none"> ●入館者数 19,587人 ●催事カレンダー 10,000部 ●鬼の館だより500部×2回
03	収蔵資料管理・資料収集業務	鬼の館の資料	<ul style="list-style-type: none"> ●修繕資料数 0点 ●寄贈資料数 5点 	<ul style="list-style-type: none"> ●修繕資料数 0点 ●購入資料数 1点 ●寄贈寄託資料数 6点

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	1,046	1,119	1,579	1,710	
人件費	6,963	5,481	4,797	6,106	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	8,009	6,600	6,376	7,816	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	開催回数	3回		3回	3回	年間の企画展・特別展の回数
03	企画展・特別展見学者数	16,037人		17,727人	17,250人	企画展・特別展見学者数
04	企画展等1回当たりコスト	2,669千円		2,125千円	2,605千円	フルコスト÷01
05	見学者1人当たりのコスト	0.49千円		0.35千円	0.45千円	フルコスト÷03

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■ 目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

・利根山光人記念館との連携による特別展、地域に関する企画展、好評を博した市民開放展と、魅力ある展示ができた。

問題点・課題等

・特別展等を企画する際、その時々に合わせて企画を検討するが、回数を重ね収集資料にも限りがあるため、企画展、特別展の題材選定に苦慮している。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

大きな不利益やリスクが生じる

ある程度の不利益やリスクが生じる

不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

■ 事業の見直し方策

■ 今後の方向性

I. 拡充

II. 継続

III. 縮小

IV. 廃止・休止

V. 完了